



[トップページ](#)

[大使館案内](#)

[二国間関係](#)

[領事情報](#)

[政治経済情報](#)

[開発協力](#)

[広報文化](#)

[重要外交課題](#)

[在サンタクルス領事事務所案内](#)

[リンク一覧](#)

[トップページ](#) > 2021年8月 ボリビア経済情勢

2021年8月 ボリビア経済情勢

2021/9/9

1 マクロ経済

(1) IMFによるSDR発効

23日、IMFが、全世界向け6,500億米ドル分の特別引出権（SDR）配分の発効を発表したことを受け、ボリビア中央銀行（BCB）はコミュニケを発出した。右コミュニケにおいてBCBは、「今般のIMFによる特別引出権（SDR）配分の発効により、2021年8月23日、ボリビアは2億3,010万SDRを受領した。これはおよそ3億2,640万米ドルに相当する」旨述べた。

(2) 貿易収支

国立統計局（INE）によれば、2021年第一四半期の貿易収支は、8億3200万米ドルの黒字であった。

(3) 海外送金

INEによれば、2021年第一四半期の海外送金額は、6億8800万米ドルに達し、前年度の同時期に比して51%増加した。

(4) 失業率

INEによれば、2020年12月に8.2%だった失業率は、2021年7月時点で6.4%まで低下した。

2 天然資源

(1) 尿素アンモニア工場の再稼働

31日、モリナ炭化水素大臣は、日系企業である東洋エンジニアリングが参画する、プロプロ尿素アンモニア工場（PAU）建設計画の進捗等についてコメントした。同大臣によれば、PAUの再稼働計画は、最終段階に入り、数日以内に稼働を開始する見込みである。プロジェクトメンバーには、韓国人、中国人、日本人、アメリカ人、インド人及びベネズエラ人が含まれている。

(2) ミネラ・サンクリストバル社

15日、当地パヒナ・シエテ紙は、同社が、鉱命延長のために、酸化鉱からの採鉱を模索している旨及び右採鉱を実現する上で3億米ドルの投資を要する旨報じた。

3 その他

(1) インフォーマルセクター

国際労働機関（ILO）及び国立統計局（INE）のデータによれば、ボリビア経済の85%をインフォーマルセクターが占めている。これを受け、専門家は、インフォーマルセクターの労働者が、フォーマルセクターよりも、貧困リスクに直面しやすく脆弱であると述べた。

(2) 予算見直し

16日、政府は、公共投資の予算額見直しを発表委した。当初の予算では、約40億ドルとしていたが、2億8,700万米ドルの追加を検討している。

[法的事項](#) / [アクセシビリティについて](#) / [プライバシーポリシー](#) / [このサイトについて](#)

Copyright(C):2014 在ポリビア日本国大使館